

氏名 佐藤 嘉洋

所属 北上済生会病院

役職 いわてイーハトーヴ臨床研修病院群 WG 副代表、副院長兼循環器内科科長

これまでのキャリア

1998年に岩手医科大学医学部を卒業し、第二内科（現在の循環器内科）に入局。臨床研修医制度がまだなかった時期であり、スーパーローテート研修を半年間行ったのちは第二内科で主に循環器内科診療を行ってまいりました。また、学生担当としてポリクリの振り分けやCBTを含めた試験問題の作成や調整なども行っていました。

臨床では不整脈を専門とし、日本内科学会認定内科医、日本循環器学会認定循環器専門医、不整脈心電学会認定不整脈専門医、日本心臓リハビリテーション学会認定心臓リハビリ指導士などの資格を取得しています。

2014年4月から北上済生会病院の循環器内科科長として勤務しています。

私のもとではこれが学べる

循環器内科全般について、主に患者さんを中心とした考え方や対応の仕方などについて一緒に考えていこうと思います。特に、不整脈を専門領域として学んできましたので、心電図での不整脈診断や治療方針について議論したいと思います。また、心不全に対する考え方や治療、管理について、循環生理学をbaseに理解できるようにしたいと思います。睡眠時無呼吸症候群を含む睡眠呼吸障害も循環に大きく関与しており、終夜睡眠ポリグラフィー検査レポートの読み方や基本的な考え方についても学んでもらいたいと思います。

加えて、当院はクリニックと中核病院や大学病院をつなぐ役目と病院と生活の場とをつなぐ役割も持っています。患者さんの生活を見据えた治療方針や療養を考えることはとても大切なことであり、それらについてチームで考えていくことができます。ぜひ、体験していただきたいと思います。

教育にかける思い

指導という言葉はあまり好きではありません。わかったから理解したへ、そして自ら考え行動できる、さらには得た知識や経験を伝えることができるようになってもらいたいと思います。歩き始めたばかりの頃は足元ばかりに気を取られがちで周りの景色を見ることができないことが多いと思います。僕たちの役目は指し示した先へ導くのではなく、自らの目標を自ら掲げられるよう、周りの景色を見せてあげること、医療だけでなくたくさんの経験や感動を得るチャンスを与えることが大切だと思っています。

医学生へのメッセージ

岩手県には情熱的な先輩がたくさんいます。医師だけではなく、医療職全てが県全体で医師を育てようとして取り組んでいるのは岩手県しかないと思います。岩手県ではより多くの経験ができます。たくさんのチャンスがあります。医師の第一歩は岩手県で行うのが best だと確信しています。

ぜひ、岩手県で初期研修を行ってください。初期研修終了時点だけではなく、5年後10年後にきっと岩手県で初期研修医をしてきて良かったと思うはずですよ。

一緒に働ける日を楽しみにしています。